

# 「第44回日本緑化工学会大会」案内(第3回)

第44回日本緑化工学会大会運営委員長 日置佳之

「第44回日本緑化工学会大会」を下記のとおり開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。なお、会場から徒歩10分の鳥取市立湖山池公園では、全国都市緑化とっとりフェア(会期9月21日～11月10日)が開催中です。そちらにも是非、足をお伸ばし下さいませようお勧め致します。

## 1. 大会概要

(1) 日程：2013年9月27日(金)～9月29日(日)

9月27日(金) 午前：理事会・評議員会

午後：論文・技術報告口頭発表，研究交流発表会ポスター展示，論文・技術報告ポスター展示，研究集会，編集委員会，資材工法展示・書店

9月28日(土) 午前：論文・技術報告口頭発表・予備時間

論文・技術報告ポスターセッション，研究交流発表会ポスターセッション，資材工法展示・書店

午後：総会，研究集会，資材工法展示・書店，ミニエクスカーション，懇親会

9月29日(日) 午前：公開シンポジウム

午後：現地見学会

(2) 会場

鳥取大学鳥取キャンパス内 広報センター，共通教育棟

(鳥取市湖山町南 4-101 TEL:0857-31-5387)。

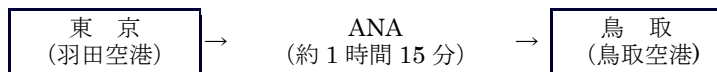
<http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=1799>



## 《会場へのアクセス》

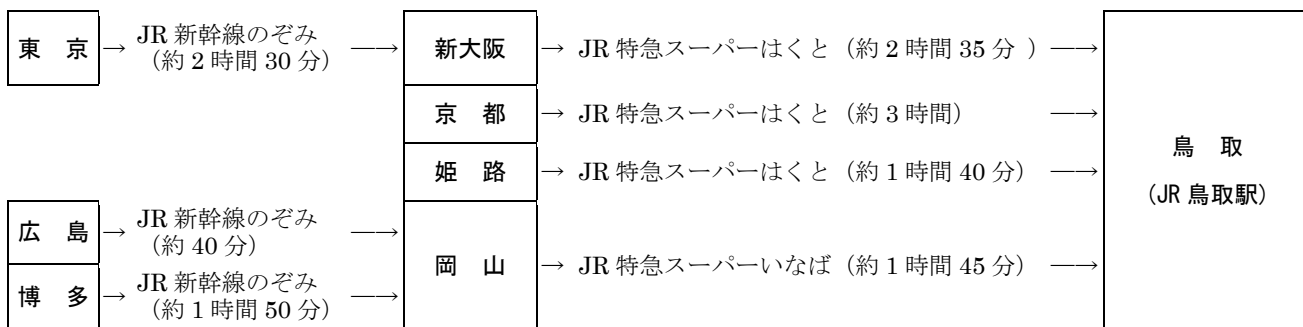
### 【航空機利用の場合(ANA)】

鳥取空港から鳥取大学鳥取キャンパスへはタクシーで約5分です。また、鳥取空港から鳥取駅へは連絡バスで約20分です。



	東京 →			鳥取 →			東京
便名	出発	→	到着	便名	出発	→	到着
293	6:40	→	7:55	292	7:05	→	8:20
295	10:55	→	12:10	294	8:40	→	9:55
297	16:00	→	17:15	296	12:55	→	14:10
299	19:40	→	21:00	298	17:45	→	19:00

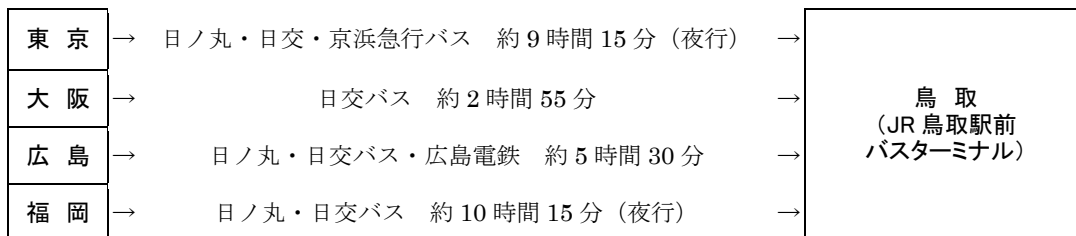
### 【鉄道利用の場合】



### 【自家用車利用の場合】

- ・大阪から約2時間30分 (中国自動車道 佐用 JCT から鳥取自動車道経由)
- ・岡山から約3時間 (中国自動車道 津山 IC から国道53号経由)
- ・松江から約2時間20分 (国道9号経由)

### 【高速バス利用の場合】



【東京-鳥取線 高速バス】

21:00	↓	品川バスターミナル	↑	06:35
21:20	↓	浜松町バスターミナル	↑	06:15
05:59	↓	智頭福原	↑	21:26
06:35	↓	鳥取バスターミナル	↑	20:50

【福岡-米子・倉吉・鳥取線 高速バス】

22:10	↓	西鉄天神バスセンター	↑	7:20
22:25	↓	博多駅交通センター	↑	7:10
23:20	↓	黒崎 IC(引野口)	↑	6:15
23:41	↓	小倉(砂津)	↑	5:59
23:45	↓	小倉駅前	↑	5:55
0:05	↓	高速門司港	↑	5:35
6:16	↓	米子駅	↑	22:30
7:36	↓	倉吉バスセンター	↑	21:10
8:40	↓	鳥取駅	↑	20:10

【広島-倉吉・鳥取線 高速バス】

広島バスセンター	↓	08:30	14:15	17:05
大塚駅	↓	08:43	14:28	17:18
湯原温泉口	↓	12:09	17:54	20:44
関金温泉	↓	12:35	18:20	21:10
倉吉市役所前	↓	12:50	18:35	21:25
倉吉駅前	↓	13:00	18:45	21:35
倉吉バスセンター	↓	13:05	18:50	21:40
ハワイアロハホール	↓	13:15	19:00	21:50
湖陵高校前(湖山)	↓	13:49	19:34	22:24
鳥取駅	↓	14:00	19:45	22:35

【大阪-鳥取線 高速バス】

便	60	70	62	10	72	64	12	66	14	74	68	16	76	36	78	38	18	42	40	04
弁天営業所※	6:40	...	8:35	...	...	10:35	...	11:35	...	...	13:35	...	...	15:35	...	17:30	...	...	19:35	...
なんば(OCAI)	7:00	8:00	9:00	...	10:00	11:00	...	12:00	...	13:00	14:00	...	15:00	16:00	17:00	18:00	...	19:00	20:00	21:30
三宮バスターミナル		8:50		...	10:50		...		...	13:50		...	15:50		17:50		...	19:50		22:20
大阪梅田				9:10			11:10		13:10			15:10					18:10			
千里桃山台				9:20			11:20		13:20			15:20					18:20			
大阪伊丹空港	↓		↓			↓		↓			↓			↓		18:22			↓	
宝塚インター	7:23		9:23	↓		11:23	↓	12:23	↓		14:23	↓		16:23		18:31	↓		20:23	
西宮北インター	7:33		9:33	↓		11:33	↓	12:33	↓		14:33	↓		16:33		18:41	↓		20:33	
鳥取駅前	9:52	11:31	11:52	12:03	13:31	13:52	14:03	15:25	16:03	16:31	16:52	18:36	18:31	18:52	20:31	21:30	21:03	22:31	22:52	1:26

## 《 鳥取駅から鳥取大学へのアクセス 》

### 【タクシー利用】

鳥取駅から約 15 分

### 【JR 利用】

鳥取駅から山陰本線 鳥取大学前駅下車 徒歩 3 分

◇：休日のみ運行 ●：平日のみ運行

<鳥取駅発→鳥取大学前駅着>		
鳥取駅	→	鳥大前駅
5:26	→	5:34
◇ 5:56	→	6:03
● 6:36	→	6:42
7:07	→	7:15
7:25	→	7:33
8:04	→	8:13
● 8:52	→	9:01
9:27	→	9:38
10:17	→	10:23
10:34	→	10:45
11:15	→	11:23
12:14	→	12:21
12:55	→	13:04
14:01	→	14:08
14:34	→	14:54
● 15:23	→	15:32
◇ 15:31	→	15:44
16:03	→	16:15
16:19	→	16:29
16:54	→	17:02
17:55	→	18:03
18:31	→	18:41
19:10	→	19:18
19:44	→	19:52
20:24	→	20:32
21:01	→	21:10
21:41	→	21:49
22:04	→	22:12
23:00	→	23:08

<鳥取大学前駅発→鳥取駅着>		
鳥大前駅	→	鳥取駅
6:25	→	6:32
7:02	→	7:17
7:46	→	7:54
8:22	→	8:32
● 8:40	→	8:48
◇ 9:03	→	9:13
● 9:32	→	9:40
10:13	→	10:25
11:01	→	11:08
11:48	→	11:55
12:30	→	12:37
12:54	→	13:01
13:41	→	13:51
14:43	→	14:52
15:03	→	15:11
16:09	→	16:16
16:39	→	16:47
17:15	→	17:23
17:39	→	17:50
18:21	→	18:29
18:56	→	19:03
19:28	→	19:33
20:16	→	20:23
20:44	→	20:58
21:25	→	21:33
● 22:21	→	22:28
22:41	→	22:51
00:03	→	00:10

**【バス利用(日の丸バス)】**

鳥取駅バスターミナル⑤番乗り場で乗車

□湖山鳥大線(布勢)⑩「大学前」下車すぐ

○湖岸線 ⑭・⑮「鳥商前」下車 徒歩 5 分

△鹿野線 ⑰「鳥商前」下車 徒歩 5 分

ダイヤ(下り)	番号	鳥取駅	鳥商前	鳥大
△	⑰	7:00	7:26	
○	⑭⑮	7:35	8:01	
○(土日ナシ)	⑭⑮	8:08	8:34	
△(土日ナシ)	⑰	8:15	8:41	
□	⑩	8:20	8:39	
△	⑰	8:45	9:11	
○	⑭⑮	9:25	9:51	
△	⑰	9:55	10:21	
△	⑰	10:45	11:11	
○	⑭⑮	10:55	11:21	
○	⑭⑮	11:45	12:11	
□	⑩	12:30	12:49	12:50
△	⑰	13:15	13:41	
○(土日ナシ)	⑭⑮	13:45	14:11	
○	⑭⑮	14:15	14:41	
□	⑩	14:28	14:47	
△	⑰	14:55	15:21	
□	⑩	15:20	15:39	15:40
○(土日ナシ)	⑭⑮	15:25	15:51	
○	⑭⑮	15:55	16:21	
△	⑰	16:25	16:51	
□	⑩	17:00	17:19	17:21
△(土日ナシ)	⑰	17:15	17:41	
○	⑭⑮	17:38	18:04	
△	⑰	17:55	18:21	
○	⑭⑮	18:15	18:41	
△	⑰	19:15	19:39	

ダイヤ(上り)	番号	鳥大	鳥商前	鳥取駅
○(土日ナシ)	⑭⑮		7:07	7:30
△(土日ナシ)	⑰		7:10	7:37
○	⑭⑮		7:36	8:03
□	⑩	8:07	8:10	8:34
△	⑰		8:19	8:50
○	⑭⑮		8:48	9:18
□	⑩		9:12	9:31
○(土日ナシ)	⑭⑮		9:18	9:44
△	⑰		9:37	10:06
○	⑭⑮		10:21	10:47
△	⑰		11:00	11:26
○	⑭⑮		11:49	12:15
△	⑰		12:10	12:36
○	⑭⑮		13:06	13:33
△	⑰		13:31	13:57
○(土日ナシ)	⑭⑮		14:50	15:16
□	⑩		15:21	15:42
○	⑭⑮		15:34	16:00
△	⑰		15:51	16:17
○(土日ナシ)	⑭⑮		16:25	16:51
△(土日ナシ)	⑰		16:35	17:01
○	⑭⑮		17:27	17:59
○	⑭⑮		17:52	18:20
△	⑰		18:19	18:50
△	⑰		18:48	19:16
○	⑭⑮		19:11	19:35

※宿泊施設の斡旋は致しません。大会時は「全国都市緑化とっとりフェア」開催期間と重なっており、宿泊施設等込み合う可能性がございますのでご予約は早めをお願いします。

**2. 参加申込方法・参加費用**

当日受付にて参加費用をお支払いください。前納受付は8月1日で終了しました。

		正会員	学生会員	非会員
大会参加費	当日	5000 円	1500 円	7000 円
懇親会費	当日	5000 円	2000 円	5000 円

- (1) 参加費  
賛助会員、非会員の大会参加費には、資料代(学会誌 39 巻 1 号)が含まれています。  
(非会員学生の大会参加費には資料代が含まれておりませんので、必要に応じて別途ご購入下さい)
- (2) 前納受付済の方へ  
参加当日、受付にて「前納済」とお伝えください。

### 3. 大会プログラム

9/27 (金)	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
共通教育棟	A31					論文・技術報告口頭発表	13:00~15:15					
	A32								研究集会1 斜面緑化	15:30~17:10		
	A33		搬入			資材工法展示・書店展示販売						
	A34		理事会	評議員会(弁当付)						編集委員会		
	第一会議室	大会本部(クローク含む)										
広報センター	C	ポスター設置・展示作業				研究交流発表会ポスター展示						
	D					論文・技術報告ポスター展示						
	E											
外会場											役員懇親会 海陽亭 18:30~	

9/28 (土)	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
共通教育棟	A31	論文・技術報告口頭発表				総会・学会賞等						
	A32						研究集会2 地域性種苗	14:10~15:50	研究集会3 森林除染	16:00~17:40		
	A33	資材工法展示・書店展示販売								搬出		
	A34	休憩室										
	第一会議室	大会本部(クローク含む)										
広報センター	C	研究交流発表会ポスター展示 (コアタイム 11:00~13:00)										
	D	論文・技術報告ポスター展示 (コアタイム 11:00~13:00)										
	E											
外会場									ミニエキスカージョン 乾燥地研究センター + 鳥取砂丘 14:45-17:30		懇親会 鳥大生協第一食堂 (マーレ)	

9/29 (日)	会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
共通教育棟	A20		公開シンポジウム									
	A32											
	A33											
	A34											
	第一会議室		関係者控室・クローク									
センター	C											
	D											
	E											
外会場							現地見学会 (都市緑化フェア会場)					

※本大会のプログラムには、緑化・環境 CPD 認定行事が含まれており、CPD ポイントがつきます。当日、CPD カードをご持参下さい。なお、ポイントの詳細については緑化・環境 CPD 協議会のサイトに掲載されますので、ご参照下さい。

※ミニエクスカーション会場へはシャトルバスが送迎運行します。(50人乗り・予約不可)  
会場図参照 (P1)

※さくま書店及び古今書院の展示販売が 27 日—28 日 共通教育棟 A33 室で行われます。是非、足をお運びください。

#### 4. 研究発表 (論文・技術報告)

■論文・技術報告 口頭発表 1 9 月 27 日 (金) 13:00~15:15 (発表 12 分, 質疑応答 3 分)

◇場所: 共通教育棟 A 棟 3 階 A31

No	タイトル	著者名	時間
0-01-T	緑化工への利用が期待される矮性トールフェスクの特性調査	入山義久・三輪哲哉・高嶋啓二・荒井浩輔・近藤聡	13:00
0-02-T	金網を用いたのり面緑化用獣害防止工法の施工事例	中村剛・福井貴之	13:15
0-03-T	田上山山腹緑化工施工地の植生回復状況	石丸香苗・木下篤彦・早田順英・村田浩之・船越和也・黒岩知恵・梅村裕也・磯嶋治康	13:30
0-04-T	生物多様性に配慮した法面緑化の試み	兵庫利勇・前田俊一・佐藤厚子	13:45
0-05-T	高速道路法面におけるレーザーを用いた葉面積指数の推定	加藤顕・戸倉千明・小林達明・野田佳慶・有村恒夫・福田聖一	14:00
0-06-T	切土のり面におけるイタチハギの選択的伐採による駆除処理の効果	大貫真樹子・久保満佐子・飯塚康雄・栗原正夫	14:15
0-07-T	京都市における神社林の鳥類分布と環境条件との関係	濱田梓・福井亘	14:30
0-08-T	エコロード 30 年の成果と自然環境保全の課題について	白川 一代・築瀬知史	14:45
0-09-A	多摩川におけるハリエンジュの結実と訪花昆虫	西熱甫江買買提・星野義延・吉川正人	15:00

■論文・技術報告 口頭発表 2 9 月 28 日 (土) 9:00~11:00 (発表 12 分, 質疑応答 3 分)

◇場所: 共通教育棟 A 棟 3 階 A31

No	タイトル	著者名	時間
0-10-T	低層建物での緑のカーテンの施工実験	村上順也・佐々木静郎・土路生修三・門倉伸行	9:00
0-11-T	緑化基盤材としての泥炭の利用	佐藤厚子・山梨高裕・山田充・鈴木輝之・川端伸一郎	9:15
0-12-T	クリンカアッシュ覆土による雑草抑制効果に関する研究	増田拓朗・甲斐崇・下岡直哉	9:30
0-13-T	弾性波検出による緑化木の水ストレス評価に関する実験的研究	上野由樹・島本由麻・鈴木哲也・森井俊広・河合隆行	9:45
0-14-A	RAPD 法によるテイカカズラ属 ( <i>Trachelospermum Lem.</i> ) 種苗の分類と交雑個体の検出	上町あずさ・福井亘・下村孝	10:00
0-15-A	現場発生表土を用いた緑化型護岸ブロックの形状と緑化	辻盛生・小山大輔・高橋克明・鈴木正貴	10:15

性能の評価

No	タイトル	著者名	時間
0-16-A	黄土高原の山腹緑化に生じた南北斜面間差と今後の課題	永松大・山中典和・福本愛弓・杜盛・ 侯慶春・張文輝	10:30
0-17-A	ヤマザクラ ( <i>Cerasus jamasakura</i> ) 開芽フェノロジーの 個体差分布とその指標性の検討	飯田義彦・今西純一・森本幸裕	10:45

■論文・技術報告 ポスターセッション1 (技術報告) 9月28日 (土) 11:00~13:00

◇場所: 広報センター 2階 D

コアタイム (\*: 11:00~12:00, \*\*: 12:00~13:00)

No	タイトル	著者名	時間
P-01-T	沿岸域に生育する常緑広葉樹を用いた塩水による生育実験	伊東日向・吉崎真司	(*)
P-02-T	河川域における薬剤を用いたハリエンジュ ( <i>Robinia pseudoacacia</i> L.) 防除の可能性	田崎冬記	(**)
P-03-T	緑のカーテンの節電効果に関する研究~浜松市内におけるアンケート調査より~	加藤真司・石井儀光・樋野公宏・鈴木弘孝	(*)
P-04-T	地域性苗木の評価に関する研究	築瀬知史・夏目壽一	(**)
P-05-T	大型プランターの形状と通気性がツル植物の根系発達に及ぼす影響について	阪本理貴・柏木秀公・村岡義哲・牧隆	(*)
P-06-T	水耕栽培システムを用いた屋上緑化の検討	黒沼尊紀・萩原静・大林修一・渡辺均	(**)
P-07-T	廃棄古畳のマット化による屋上緑化技術の開発に関する研究	伊藤文喜・石川龍二	(*)
P-08-T	エチゼンクラゲ類を利用した緑化資材の開発	稲本亮平・田中健一・竹波信宏・松本淳一・ 土居幹治・藤島哲郎・河野修一・江崎次夫・ 全権雨	(**)
P-09-T	ライシメーターを利用した盛土実験斜面の植生遷移	河野修一・江崎次夫・全権雨	(*)
P-10-T	レーラー・プレセット方程式を用いた植物起源弾性波の周波数特性に関する解析的検討	島本由麻・上野由樹・鈴木哲也	(**)
P-11-T	畦畔植生の修復に向けた表土移植手法の検討	七海絵里香・大澤啓志	(*)
P-12-T	中空構造栽培槽の立体配置による壁面緑化材としての利用	内山知二・佐野修司・遠藤常嘉・工藤渚・ 山崎敬亮・長崎裕司・西本登志・松山眞三・ 隅谷智宏	(**)
P-13-T	造園技能士検定に対応した大学キャンパスの樹木導入について	日高英二・篠崎圭太郎・清水厚郎・ 竹内真一	(*)
P-14-T	外生菌根菌を接種したカン類を用いた石灰石鉱山の緑化技術	香山雅純・山中高史・赤迫諒介・山口哲哉	(**)
P-15-T	黒川における大学生による自然再生の取り組み	野呂恵子・倉本宣	(*)



■論文・技術報告 ポスターセッション 2 (論文) 9月28日(土) 11:00~13:00

◇場所: 広報センター 2階 E

コアタイム (\*: 11:00~12:00, \*\*: 12:00~13:00)

NO.	タイトル	著者名	時間
P-01-A	リターの有無によるトンボ幼虫の群集形成メカニズムの変化	森川政人・相澤章仁・小林達明	(*)
P-02-A	緑のカーテンの有無が人体の心理反応に及ぼす影響	加藤真司・桑沢保夫・石井儀光・樋野公宏・橋本剛・小木曾裕・持田太樹	(**)
P-03-A	西表島に生育するマングローブ4種の浸透調節物質の濃度変化と陽イオンとの関係	岩永史子・山本福壽・Ailijiang Maimaiti・吉田佑美・森信寛・谷口真吾・山中典和	(*)
P-04-A	降雨及び人工林における林齢空間分布の経時変化が表層崩壊発生に与える影響評価について	執印康裕・松英恵吾・田坂聡明・有賀一広・堀田紀文	(**)
P-05-A	張りシバ地に播種された数種の半自然草地構成種の初期生育に関する実験的研究	山田晋・根本正之	(*)
P-06-A	中国内モンゴルにおける緑化用灌木 <i>Caragana korshinskii</i> Kom. (樺条) の種子散布と実生動態	田中晴飛・高橋遥香・岩本紗弥・原鋭次郎・増田達志・衣笠利彦	(**)
P-07-A	高塩濃度環境が <i>Salix psammophila</i> と <i>Salix matsudana</i> 挿し木苗の成長・光合成・およびベタイン蓄積におよぼす影響	香口成美・岡田憲和・山本福壽・山中典和	(*)
P-08-A	絶滅危惧種コギシギシ ( <i>Rumex nipponicus</i> Franch. et Savat.) の瘦果形態ならびに発芽特性	與猶久恵・内田泰三・荒瀬輝夫・早坂大亮	(**)
P-09-A	土壌シードバンクの種子密度と種数, 種子組成の7年間の変化	山瀬敬太郎・関岡裕明・藤堂千景	(*)
P-10-A	都心の商業施設に創出された屋上緑地での利用者の行動と生活における効果	那須守・岩崎寛・高岡由紀子・林豊・金侑映・石田都	(**)
P-11-A	中国内モンゴルクブチ砂漠に植栽された小叶楊 ( <i>Populus simonii</i> Carr.) の水利用と成長に及ぼす埋砂の影響	立石麻紀子・宮崎寛大・山本福壽・毛恵平・岡田憲和・山中典和	(*)
P-12-A	万葉集および平安期の勅撰和歌集にみる植物に対する行為	七海絵里香・森崎翔太・大澤啓志	(**)
P-13-A	福島第一原発事故後の丘陵地林縁部法面における放射性物質移動防止試験	小林達明・木村絵里・飯塚和弘・山本理恵・鈴木弘行・星澤保弘・小竹守敏彦・関崎益夫・谷口伸二	(*)
P-14-A	気泡運動モデルを用いた植物起源弾性波の定量評価	鈴木哲也・上野由樹・島本由麻	(**)

## 5. 研究交流発表会 ポスターセッション 9月28日(土) 11:00~13:00

◇場所：広報センター 2階 C

コアタイム (\* : 11:00~12:00 , \*\* : 12:00~13:00)

NO.	タイトル	著者名	時間
研交01	三宅島雄山の高濃度火山ガス環境に設置したバンカー(大型植穴)緑化試験地の変遷	小川泰浩(森林総合研究所), 黒川潮(森林総合研究所九州支所), 岡部宏秋(株式会社伊豆緑産)	(*)
研交02	都市生態系における企業緑地の役割:全国の事業所での緑地/生物相評価ツールの性能評価	岩淵翼(東北大学), 増澤直(地域環境計画), 三輪隆(竹中工務店), 飯田慎一(パナソニック), 伊藤俊哉(住友林業緑化), 浦嶋裕子(三井住友海上), 木村幹子(対馬市), 久保達哉(JSR), 杉本信幸(味の素), 瀬能靖弘(凸版印刷), 高見謙(帝人), 竹内和也(三菱地所), 竹内恵子(グリーン・ワイズ), 田畑真理(大阪ガス), 寺内孝夫(大日本印刷), 永戸優子(凸版印刷), 中村博一(大阪ガス), 林豊(清水建設), 原口真(インターリスク総研), 原田佳幸(イオンリテール), 平井宗男(旭化成), 細見弘明(旭化成), 本名浩(帝人), 三宅茂(イオンリテール), 宮本昌宏(JSR), 矢部明彦(富士ゼロックス), 小黒芳生(東北大学), 横山潤(山形大学), 河田雅圭(東北大学), 中静透(東北大学)	(**)
研交03	知識や関心が森林の景観評価へ及ぼす影響	平野維久枝(日本大学大学院), 羽生和紀(日本大学文理学部)	(*)
研交04	山火事跡地の森林再生 ー大三島山火事跡地ー	田中健一, 竹波信宏(日本植生株式会社), 河野修一, 江崎次夫(愛媛大学農学部), 全権雨(江原大学校山林環境科学大学)	(**)
研交05	クラゲチップを用いた山火事跡地の森林再生 ー笠松山山火事跡地ー	田中健一, 竹波信宏(日本植生株式会社), 河野修一, 江崎次夫(愛媛大学農学部), 全権雨(江原大学校山林環境科学大学)	(*)
研交06	エチゼンクラゲ類を活用したヤマザクラの植栽	全 権雨(江原大学校山林環境科学大学), 松本淳一, 土居幹治, 藤島哲郎(マルトモ株式会社), 河野修一, 江崎次夫(愛媛大学農学部)	(**)
研交07	津波被害を軽減するためにエチゼンクラゲ類を活用した海岸防災林の造成	河野修一, 江崎次夫(愛媛大学農学部), 柳原敦(山形大学農学部), 全権雨(江原大学校山林環境科学大学)	(*)
研交08	クラゲチップとタケチップを活用した土壌改良材の施用効果	全権雨(江原大学校山林環境科学大学), 河野修一, 江崎次夫(愛媛大学農学部)	(**)
研交09	クラゲチップを用いたバリ島の火山性荒廃地の緑化	江崎次夫, 河野修一(愛媛大学農学部), 松本淳一, 土居幹治, 藤島哲郎(マルトモ株式会社), 全権雨(江原大学校山林環境科学大学)	(*)
研交10	スギ・ヒノキ人工林の抜き伐り下に植栽した各種広葉樹の成長とニホンジカ等による採食害 ー静岡県中部地域における防鹿柵設置5年後の結果ー	近藤晃, 加藤徹, 伊藤愛(静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター)	(**)

NO.	タイトル	著者名	時間
研交 11	草本植物の根系を含む土供試体のせん断特性と覆土厚との関係 —寒冷地のり面の保全と地域性種苗の適用可能性の検討—	山崎由理, 宗岡寿美, 小俣悟得 <sup>1)</sup> , 石川玲奈 <sup>2)</sup> , 福田尚人 <sup>3)</sup> , 木村賢人, 辻修 (帯広畜産大学) 1) 現在, 株式会社ルーラルエンジニア 2) 現在, 北海道大学工学研究院工学系技術センター 3) 現在, 岩手大学大学院連合農学研究科	(*)
研交 12	少雪寒冷地域切土法面の侵食防止工法に用いた自生種木本植物の経年変化	福田尚人 (岩手大学大学院連合農学研究科), 辻修, 木村賢人, 宗岡寿美 (帯広畜産大学地域環境学研究部門)	(**)
研交 13	北海道におけるゼンテイカの遺伝的多様性	石田光, 我妻尚広, 岡本吉弘 (酪農学園大学大学院酪農学研究科)	(*)
研交 14	野生動物の運動能力とのり面での行動特性について	築瀬知史, 繁富剛, 白川一代, 夏目壽一 (株式会社高速道路総合技術研究所)	(**)
研交 15	肥培モデル実験林において 33 年連続施肥が土壤微生物バイオマスに及ぼす影響	古澤仁美, 長倉淳子 (森林総合研究所), 伊藤江利子, 相澤州平, 橋本徹 (森林総合研究所北海道支所)	(*)
研交 16	迅速堆肥化による被災木材の有効利用技術 —熊野川熊野地区河道閉塞緊急対策工事の斜面緑化の事例—	杉本英夫, 青木雄祐 (株式会社大林組), 藤井厚企 (国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所)	(**)
研交 17	香川県有明浜における絶滅危惧種ハマウツボの分布特性	戎谷遵, 二神良太, 岡浩平 (広島工業大学環境学部地球環境学科)	(*)
研交 18	在来野生植物による屋上緑化への実験的研究-オカトラノオの生育を中心として-	黒田貴綱 (日本大学生物資源科学部富士自然教育センター), 勝野武彦 (日本大学生物資源科学部植物資源科学科)	(**)
研交 19	西表島における森林表土利用工の試験施工事例	大嶺匡史, 大橋史葉, 大城政人 (株式会社南西環境研究所), 玉城正教, 戸眞伊伸宏, 志良堂友彦 (沖縄県八重山土木事務所)	(*)
研交 20	堤防を守る省管理型緑化技術 —河川堤防植生フィールド試験における 3 年間の調査事例—	十河潔司, 杉本英夫 (株式会社大林組)	(**)
研交 21	在来草本 1 3 種の葉緑体 DNA における地域間差評価領域の検討	津田その子, 守谷栄樹, 鈴木素弘 (中部電力株式会社), 小林聡, 富田基史, 阿部聖哉, 松木吏弓 (一般財団法人電力中央研究所), 河津かおり, 花井隆晃 (株式会社テクノ中部)	(*)
研交 22	1 年型ドングリの発芽特性	池本省吾 (鳥取県農林総合研究所林業試験場)	(**)
研交 23	緑景観が人間のストレス緩和に及ぼす影響の変化	山本 聡 (兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/兵庫県立淡路景観園芸学校)	(*)
研交 24	遷移段階の異なる樹木を組み合わせた植栽工とヤマハンノキの播種工による広葉樹林化の比較研究	寫田知帆, 田中和博, 長島啓子 (京都府立大学大学院)	(**)

NO.	タイトル	著者名	時間
研交 25	遷移段階の異なる樹木を組み合わせた植栽工と自然林との比較	榑原菜々（京都府立大学）， 長島啓子，田中和博（京都府立大学大学院）	(*)
研交 26	神戸層群における天然林再生を目的とした法面緑化：10年後の経過報告	堀田佳那，石井弘明，黒田慶子（神戸大学農学研究科）	(**)
研交 27	愛知県三河湾の海浜における海浜植物の種多様性とその保全	村上健太郎（名古屋産業大学環境情報ビジネス学部）	(*)
研交 28	海岸砂丘における企業研修施設の緑化 －鳥取県井手ヶ浜海岸に位置するダイキンアレス青谷を事例として－	趙賢一，山野秀樹，佐藤力，織戸明子，森野敏彰，中井理佐子，中山詩織，山本紀久（株式会社愛植物設計事務所），日置佳之（鳥取大学）	(**)
研交 29	広葉樹林化を目指した低コストおよび食害回避を目的とした管理手法 －富士山南麓の広葉樹植林地における下刈り強度の検討－	中村華子（特定非営利活動法人山の自然学クラブ）	(*)

## 6. ミニエクスカーション

◇日時：9月28日（土）14：45～17：30

鳥取大学乾燥地研究センターと鳥取砂丘を巡るミニエクスカーションを行います。

※参加費は無料ですが，参加受付は先着順となりますのでご了承ください。

※ミニエクスカーション参加希望者は大会受付時にその旨をお申し出ください。

※50名乗りシャトルバスが14：45に鳥取大学を出発します。

## 7. 公開特別シンポジウム（全国都市緑化とっとりフェアとの共同開催）

『ナチュラルガーデンと生物多様性緑化の実践』

日時：2013年9月29日（日）9:00～12:00

場所：鳥取大学共通教育棟 A20 講義室

<プログラム>

講演：イギリスと日本のナチュラルガーデン（ポールスミザー，ガーデンルーム）

生物多様性緑化の現状と課題（日置佳之，鳥取大学）

在来種を基調とした造園デザイン（山本紀久，愛植物設計事務所）

SEGESに見る緑化の傾向（小松尚美，都市緑化機構）

パネルディスカッション：在来種がつくる緑化景観

コーディネーター：森本幸裕氏（京都学園大学）

パネラー：講演者全員＋鈴木恵梨佳（都市緑化フェアスペシャル応援サポーター・

2013年度ミス日本グランプリ）

概要

全国都市緑化とっとりフェアは、「ナチュラルガーデン」を基本理念としています。ナチュラルガーデンは、在来種の木本と多年草を主体とする庭づくりであり、「生物多様性の主流化」の実践が社会的課題となっている時代において、緑化のあり方に一石を投じる手法です。本シンポジウムでは、ナチュラルガーデンと生物多様性緑化の相同点・相違点について実例を引きながら議論します。

## 8. 資材・工法展示の概要

### ◇出展社：ICT インターナショナル

#### 「土壌・樹木の水分ストレスの同時計測および樹液流動（サップフロー）のモニタリング例」

水ポテンシャル計測やサップフロー計測は土壌、根、幹、葉そして大気と一連の水の動きを観察できる技術です。今回、小さなポット栽培の樹木を用いて土壌に水分センサー、幹に樹木の水ポテンシャルを自動計測するステムサイクロメーターと樹木内の水移動を計測するサップフローメーターを設置。樹木と土壌の同時水分生理計測をご紹介します。

### ◇出展社：紅大貿易株式会社

#### 「求められる種子を迅速に」

紅大では、様々な現場環境に見合う種子の充実に取り組んでいます。矮性・低結実性品種などを含む外来草本、外国産在来種の他、生物多様性に配慮した地域性種苗や国内産在来種、また国内産種子の価格低減を実現した栽培地が外国の日本産逆輸入種子を取り扱っています。種子取扱い実績 50 年のノウハウを活かした取り組みや商品をご紹介します。

### ◇出展社：有限会社竹本園

#### 「分解性不織布を使用したロングポットによる造林苗木の育成方法の展示」

直根性の強いクヌギ、コナラ、カン類の造林苗木の生産に当たり、ルーピングしない苗木の育成法です。

しかも直根性を失わず自然に近い苗木ができます。空中で育成しますので細根が多く、菌根苗の付着も多く耐乾性の強い苗木、松のしょうろ菌、松茸菌の付着苗の生産は夢ではない。

## 9. 研究集会

### 1) 斜面緑化研究部会がめざす法面緑化の新たなルール作り(その 4)

#### - 法面の自然回復緑化における評価方法の提案 -

◇日時：9月27日（金）15：30～17：10

◇場所：共通教育棟 A32

◇内容：

斜面緑化研究部会では、斜面における自然回復緑化にスポットを当てた研究集会やシンポジウムを開催し、議論を重ねている。斜面緑化に対するさまざまな問題点が指摘される中で、“緑化目的・目標が不明確であること”，“緑化目的・目標に適合した検査基準が整備されていないこと”が、早急に解決すべき課題であるとの認識に至っている。本研究集会は、「斜面緑化研究部会がめざす法面緑化の新たなルール作り」と題して過去3回実施し、今回で4回目となる。今回は、緑化工事のモニタリングデータを解析し、評価方法や評価基準について素案を提案する予定でいる。

◇企画責任者：日本緑化工学会斜面緑化研究部会長 山田守

◇話題提供者（予定）

- ・趣旨説明 山田守（SPTEC YAMADA）…自然回復緑化における評価の考え方
- ・話題提供 橘隆一（東京農業大学）…自然回復緑化における評価方法の提案

◇ コメンテーター（予定）

- ・斜面緑化研究部会幹事

吉田 寛（東興ジオテック株式会社）

高橋 徳（ライト工業株式会社）

田中賢治（国土防災技術株式会社）

## 2) 生態系および遺伝子の多様性に配慮した緑化の拡大に向けて

「地域性種苗」を、「なぜ使いたいのか、使うべきなのか？」 ～社会的要請の高まりを考える

◇日時：9月28日（土）14：10～15：50

◇場所：共通教育棟 A32

◇内容：

環境省の「愛知目標達成のための侵略的外来種リスト作成会議」では現在侵略的外来種リスト（仮称）の作成が進められています。また「外来種被害防止行動計画策定会議」では外来種被害防止行動計画（仮称）（愛知目標の達成を目標とした、外来種対策の中期的な総合戦略として位置づける）が作成中です。

話題提供1. では、環境省の担当者からこれらの趣旨や内容について説明して頂きます。

そして話題提供2. では、研究部会より、生態系や遺伝子の多様性に配慮した地域性種苗の生産・活用現場の最前線についての話題提供を致します。

ふたつの話題提供を踏まえ、緑化関係の技術者・研究者からリストや行動計画に対する意見や提案を聞き、みなさんで今後のことを考えていく研究集会にしたいと考えています。

◇企画責任者：生態・環境緑化研究部会

◇話題提供者：環境省 自然環境局野生生物課 外来生物対策室 担当官  
入山義久（雪印種苗株式会社）

◇質疑応答・意見交換

パネラー：話題提供者2名、小林達明（千葉大学）

司 会：生態・環境緑化研究部会幹事

## 3) 原子力災害被災地の生態再生（2）森林の除染を考える

◇日時：9月28日（土）16：00～17：40

◇場所：共通教育棟 A32

◇内容：

福島第一原発事故による森林汚染については、対策が強く要望されているが、その汚染が広範であること、膨大なコストがかかることが予測されることなどから、検討はこれまで十分に進んでこなかった。チェルノブイリでは、放射性セシウムは事故後しばらくして森林生態系を循環し始め、その後は系内の循環がもっぱらで外部への排出はわずかであるという。より湿潤で温暖なわが国の生態系で、それがどのような挙動を示していくかは明らかではなく、的確な政策立案の障害となっている。一方、その完全解明をまたず、事態は進行し住民の生活復帰は進むため、迅速な対応も求められている。本集会では、標記の問題意識を持って現地第一線で研究を展開している研究者に集まっていただき、多様な条件の森林における放射性セシウムの挙動について比較検討し、その成果をベースに、効果的な除染方法、除染以外の対策手法等のアイデアについて意見交換する。

◇企画責任者：小林達明（千葉大学）

◇話題提供者：金子真司（森林総合研究所）、金子信博（横浜国立大学）、水庭千鶴子（東京農業大学）、山本理恵（千葉大学）

◇コメンテーター：太田猛彦（東京大学名誉教授、東京農業大学名誉教授）、大内公安（ライト工業）

## 10. 現地見学会

◇日時:9月28日(日) 13:00～15:00

13:15 からポールスミザー氏によるナチュラルガーデンの説明があります。

◇場所: 第30回全国都市緑化とっとりフェア会場鳥取市湖山池公園。

鳥取大学からバスで行きます。このバスには荷物を積むことができます。

見学先の詳細については、下記の第30回全国都市緑化とっとりフェアHPをご参照ください。

<http://oasistottori.jp/>

◇募集人員: 50名 (先着・事前申し込み)

◇参加費: 緑化フェア入園料 500円 (20名以上の団体割引料金)。学会受付時に徴収します。

<参加申し込み>

参加を希望される方は、①代表者の氏名、②所属、③参加人数、④代表者の連絡先(メールアドレスおよび携帯電話番号)を明記のうえ、以下の申込先までメールでお申し込み下さい。

◇参加申し込み締め切り9月2日(月)

◇見学会申込先 緑化工学会大会 見学会担当 大坪千晶

E-mail: [ryokkakou44@gmail.com](mailto:ryokkakou44@gmail.com)

※メールのタイトルに「見学会申し込み」とお書きください。なお、申し込みから5日以内に、こちらからの確認メールが届かない場合は、お手数ですが再度ご連絡下さい。当日の詳細なスケジュールは参加者の方に別途お送りいたします。

なお、全国都市緑化とっとりフェア会場は個人での入場・見学もできます(当日入場券600円)。

## 11. 大会運営委員会

第44回日本緑化工学会大会運営委員会

委員長:日置佳之 委員:山本福壽, 山中典和, 佐野淳之, 永松大, 谷口武士

〒680-8553 鳥取市湖山町南 40-101 鳥取大学農学部生態工学研究室

TEL: 0857-31-5387(生態工学研究室直通) FAX: 0857-31-5387

E-mail: [ryokkakou44@gmail.com](mailto:ryokkakou44@gmail.com)